

会 議 録

1 会議名

令和元年度第6回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

（1）自主的審議事項「地域活動における人員不足について」

（2）令和元年度安塚区地域協議会視察研修について

（3）安塚区地域協議会としての審議内容について

2) 報 告（公開）

（1）安塚区地域懇談会開催結果について

（2）雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）について

3) その他（公開）

3 開催日時

令和元年8月22日（木）午後7時00分から午後8時10分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田嘉久、石田ひとみ、數井憲一、國保信夫、小松光代、長谷川直樹
秦克博、松苗正二、山岸重正

・事務局：安塚区総合事務所 市川所長、大橋次長、石川市民生活・福祉グループ長
（併教育・文化グループ長）、村松班長、仮澤主事

・浦川原区総合事務所：大坪所長、田中産業グループ長、柳澤班長

・施設経営管理室：新部室長、丸田副室長

・キューピットバレイ(株)：石田社長

8 発言の内容（要旨）

【大橋次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：数井憲一会長

【数井憲一会長】

- ・ 挨拶

それでは協議事項（1）自主的審議事項「地域活動における人員不足について」説明を求める。

【仮澤主事】

自主的審議事項「地域活動における人員不足について」説明。

【数井憲一会長】

質問等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは次へ移る。協議事項（2）令和元年度安塚区地域協議会視察研修について説明を求める。

【仮澤主事】

令和元年度安塚区地域協議会視察研修について、資料No. 1に沿って説明。

【数井憲一会長】

質問等あるか。

（「なし」の声あり）

提案のあった計画で進めることでよいか。

（「よい」の声あり）

それでは次へ移る。協議事項（3）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提出があったか事務局に確認する。

【大橋次長】

事前の提出はない。

【数井憲一会長】

この場でもよいが、委員の提案等を求める。

（「なし」の声あり）

それでは報告事項へ移る。報告事項について、本日は木田から説明に来ている方がいることから、（２）雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）についてから説明いただくことでよいか。

（「よい」の声あり）

それでは（２）雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）について説明を求める。

【施設経営管理室新部室長】

雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）について、資料No. 3に沿って説明。

【數井憲一会長】

質問等あるか。

【山岸重正副会長】

新しい施設は日帰り入浴のみで宿泊はできないのか。

【施設経営管理室新部室長】

雪の湯における日帰り温浴等の機能を集約するので、従前から行っていた宿泊も可能である。

【長谷川直樹委員】

新しい浴槽はどの程度の大きさを想定しているのか。

【施設経営管理室新部室長】

浴槽は3～3.5倍程度の増床を予定している。

【石田ひとみ委員】

施設の改修は浴室の部分のみか。

【施設経営管理室新部室長】

今回の改修工事は、浴室のみを予定している。

【石田ひとみ委員】

急な階段など、お年寄りや小さい子どもには利用しにくいと思われる。観光地としての施設も大切であるが、地元の方が利用しやすい施設になるよう配慮していただきたい。

【松苗正二委員】

雪の湯の利用者が昨年は約5万7千人という説明があったが、1年で割ってみると、1日当たりかなりの人数が利用している。浴室を3～3.5倍程度の大きさにすることで対応できるのか。

【施設経営管理室新部室長】

源泉井戸が限られており、源泉かけ流しを確保するために今ほど説明した大きさに進めたいと考えている。運営の中で工夫をし、対応が必要であると考えている。

【松苗正二委員】

3～3.5倍の大きさにすることで湯量は確保できるのか。湯量が足りなくなるのではないか。

【施設経営管理室新部室長】

流れる湯量は変わらないので、かけ流しの湯量についても現在と変わらない。

【松苗正二委員】

当初、雪の湯ができたときは駐車場前に雪だるまがあり、その蛇口をひねるとお湯が出てきた。年数が経ち湯量が減るにつれてその雪だるまはなくなってしまった。同じように雪の湯を久比岐野に集約しても、いずれは湯量が足りなくなるのではないか。

【施設経営管理室新部室長】

今の状態であれば湯量は減少していくが、久比岐野に集約することで湯量の減少を抑える事ができる。

【池田嘉久委員】

今まで雪の湯に行っていたお客が久比岐野に行った場合、湯量がどのように変わるか。また、その際はどのように対応をされるか。

【施設経営管理室新部室長】

基本的には、浴槽を拡充したとしてもかけ流す湯量は変わらないので、雪の湯で使用していた分の湯量が減ると考えていただいてよい。利用客が増えれば多少湯量が増えることも考えられるが、集約することで対応しきれない範囲であると考えている。

源泉井戸は自然のものであるので、もし湯量が減少するような状況があれば対応を見直さなければならないが、計算上、現在検討している中では湯量は足りると考えている。

【長谷川直樹委員】

雪の湯の利用者が久比岐野に移るのであれば、客数も増えるであろうし、日帰り温浴の営業時間を増やす等運営の見直しもする必要があるのではないかと。

【施設経営管理室新部室長】

運営面についてはキューピットバレイ㈱にお願いしているので、今後相談して決めていきたい。

【數井憲一会長】

今回は浴室のみの改修であるが、今後他の部分について予定はあるのか。

【施設経営管理室新部室長】

他の部分については、通常の整備計画の中で考えていきたい。

【石田ひとみ委員】

設計については、市が発注するのか。

【施設経営管理室新部室長】

そうである。

【石田ひとみ委員】

設計についてお願いしたいのだが、冬に雪がどこにどのくらい積もり、屋根の雪がどこに落ち、現場にどう影響するのかということまでを考慮して設計をしていただきたい。屋根の雪が道に落ちたりすることで、怪我に繋がる等他の利用者にも迷惑がかかる。

【施設経営管理室新部室長】

承知した。

【數井憲一会長】

他に質問等あるか。

(「なし」の声あり)

それでは、キューピットバレイからも何か意見等あればお願いしたい。

【キューピットバレイ㈱石田社長】

今ほど、施設経営管理室から説明いただいた内容でおおよそのことは網羅している。

現在、設備もかなり老朽化してきており、お客様が満足できる入浴施設として提供できているか不安である。湯量も減少しており、人手も少ない中でなんとか十分なサービスを提供できないかと考えた上での提案である。新しい施設になることで、今までよりよいサービスをお客様に提供できるのではないかと期待している。

雪の湯の機能を全て久比岐野に集約できるかというのには不安があるが、今後営業時間等検討しながら対応していかなければならないと思うし、スキー場の利用者等全てをどう対応していくかどうかも検討していかなければならないと考えている。今後、観光客や地域の利用者の皆様から御意見等いただきながら、より利用しやすい施設になるよう努力していきたい。

【數井憲一会長】

一昨年から昨年にかけて入込客数が増加しているが、これは素晴らしいことであると思う。今後も市内外へキューピットバレイの良さをPRしていただきたいし、また、地域ともタイアップしながらやっていければと思う。

他に意見等あるか。

(「なし」の声あり)

それでは次へ移る。報告事項(1)安塚区地域懇談会開催結果について説明を求める。

【市川所長】

安塚区地域懇談会開催結果について、資料No.2に沿って説明。

【數井憲一会長】

質問等あるか。

(「なし」の声あり)

全体を通して、意見等あるか。

(「なし」の声あり)

・次回の地域協議会開催日

第7回安塚区地域協議会 令和元年9月27日(金)午後7時から

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL:025-592-2003(内線23)

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。